

東京地方裁判所 御中

ウォン・ウティナンさんたちへの退去強制令書発付を取消し

在留許可を与えていただくための嘆願書

ウォン・ウティナンさんは、2000年1月21日に甲府市の産婦人科病院で生まれました。父母はタイ国籍の超過滞在者であり、父親はその後、強制送還されています。母親は入管の摘発を恐れ、ウティナンさんとともに各地を転々として、過ごしてきました。そのためウティナンさんは小学校に入学出来ず、公教育を受けることができませんでした。しかし、母親の元で愛情豊かに育つことが出来たために、本当に素直な良い少年に育っています。

2010年山梨県が新しい公共支援事業で実施した「外国籍不就学児童調査」によりウティナンさんが不就学状態にあることが判明し、その後、週3～4回程度の学習支援を受けて、2013年4月1日に甲府市立南西中学校の2年に入学しています。また、同年母親とともに自ら入管に出頭し、在留特別許可の申請をしております。

彼は本当に努力家で、小学校教育を受けなかったにもかかわらず、中学校の2年間で学力的には高校に進学が可能な段階にまで至っています。多くの友人や先生、同級生の父母の支援にも恵まれ、演劇部やバスケット部に所属し、体格的にも年齢に応じた成長がみられています。

ウティナンさんは、「働きながら勉強できる定時制高校に進学して、お母さんを助け、皆さんに迷惑をかけないで、甲府で暮らしていきたい」と願っています。タイ語の会話は可能ですが、読み書き・会話が可能なのは日本語で、日本語が第1言語です。彼は、日本で生まれ日本の社会しか知りません。このまま退去強制されることは子どもにとってあまりにも非情な措置です。ウティナンさんとお母さんへの退去強制令書発付を取り消し、在留許可を与えていただけるようお願いいたします。

名前	住所

★署名締切日：2015年2月28日 下記へ郵送またはFAXでお送りください。
〒400-0023 甲府市愛宕町354-77 山崎方 ウォン・ウティナンさんの裁判を支える会
FAX：0553-44-2904

この用紙をコピーして広めてください。個人情報、本署名以外に利用いたしませんので、裁判の経過等お知りになりたい方は、FAXにてその旨ご連絡下さい。